

第 9 1 回 病 診 連 携 委 員 会 要 録

日 時 令和元年5月27日(月)午後7時45分

場 所 浪速区医師会 会議室

出席者 裏面

今回はなにわ生野病院から荒井さん、富士通より松田さん、警察病院より岡嶋さん、第二警察病院より谷口さん(谷口さんは警察病院より引き続き継続)、日本生命病院より久留(ひさどめ)さん、が来られ開催された。

議 題

1. 第90回病診連携委員会報告について(資料1)

前回委員会での議事内容の報告と確認を行った。

2. なにわ生野病院のhumanbridgeの説明と現状報告について

(なにわ生野病院長谷川院長・荒井さん 富士通(株)松田さん)

昨年4月から運用が開始されている。現在浪速区内のクリニック数か所とつながっており、なにわ生野病院内での検査結果や画像検査、退院サマリーや病歴などが見られるようにしている。利用してほしいと長谷川院長より発言があった。

Humanbridgeとは(別紙参照)病診連携システムであり、ネットワークの活用により電子的診療情報評価加算として30点が請求できるようにもなっている。セキュリティ環境は一番厳重にしており、仮想専用線(IPsec VPN+IKE)を使用している。これは国内最高レベルとのこと。生野病院以外では大阪大学付属病院など数か所で導入されている(この種のHERでは、当会連携病院では、日生病院のhumanbridge、大手前病院のID-linkがある)。もちろん患者様の同意書が初めに必要であり、その後PCの設定後、閲覧できるようになる。連携を予定している内容としては、退院サマリー、放射線画像、放射線レポート、内視鏡連ポート、検体検査、細菌検査、生理検査など。インターネットができるパソコンがあれば大丈夫とのこと(windows8-10)。まずはパソコンの設定(なにわ生野病院の担当の方に自身のクリニックに来てもらい設定してもらい)後、患者紹介の際に患者さんに生野病院のカルテ情報参照の了承を得てもらい同意書を持参もしくはFAXしてもらうことから。ただし現時点では90日間の期間有効であるとのこと。

医師会(有田先生より)ブルーカード登録患者さんはすでに承諾をもらっているのと同等なので、あえて同意書を得なくてもよいのではないかと提案。緊急入院の際は、患者同意が得にくいいため今後、病院側の主治医の協力も必要になると提案。富士通側は緊急時命に係わる情報は現時点では閲覧問題ないのではないかと言われている。しかし緊急時が過ぎると平時の対応となってくることが予測される。

3. 連携病院(浪速区外)へのAケアカード参加について

現在ブルーカードでは浪速区外の病院にも参加していただいで広範囲に連携が出来て

いるが、Aケアカードは当初の成り立ち過程より浪速区内の病院に限られてきた。しかしこの度、4月の在宅連携協議会にて使用が認められる決議があったため、とりあえずブルーカード閲覧のためのID・PWは発行するものとし改めてAケアカードに参加を願いたいとの趣旨。Aケアカードはチャット機能だけではなく、検査結果や内服内容などの情報供覧を多職種できる点で一線を画している。Aケアカードの参加にはさらにVPNの設定が必要であり、近い将来、説明会を開催する予定である。

4. 多職種連携ツール(SNS)に参加されている連携病院の状況報告について

生野区：いくみんネット（デジタルリンク）があるが病院での使用はほぼないとのこと。

東成区：カナミックがあるが今回参加されていない。

天王寺区：具体的な話はないと。

中央区：特に聞いていない。

西成区：アナログ方式では行われている。主に在宅の患者さんが主体である。

西区：特に話は出ていない。

5. ブルーカード登録数について

本日現在の登録件数				浪速区	589 件	他地区	61 件
本日現在の使用状況数（延べ）				浪速区	667 件	他地区	48 件
2月26から本日までのカード動向				合計	94 件		
新規	22 件	更新	43 件	入院	8 件	他入院	0 件
中止	1 件	死亡	5 件	退院	2 件	連携入院	0 件
通院無	6 件	かかりつけ医変更		5 件	登病変	2 件	転院
						0 件	

6. その他

なし。

令和元年度 会議開催予定

5月27日・8月26日・11月25日・2020年2月17日（すべて月曜日・原則午後7時45分開始）